

# WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

**週報 27号**  
**通算 2079回**



例会日：水曜日  
第1・第2：18:30～(夜) 第3・第4・第5：12:30～(昼)  
例会場：ルメール華月殿 和歌山市屋形町 2-10  
事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23  
サイバ-リンクス N-4ビル 2階  
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200  
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>  
E-mail：a-rotary@coral.cypress.ne.jp  
会長：郷間博敏 幹事：奥村智子  
会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



新宮市の花① 《はまゆう》

**本日の例会**  
2月5日(水)  
18:30～華月殿

ロータリング：君が代・われ等 和歌山東南ロータリー  
行事：クラブフォーラム 国際奉仕委員会  
卓話「国際奉仕について」  
海南東RC 花田宗弘様

**次回の例会**  
2月12日(水)  
18:30～

行事：和歌山南 RC との合同  
例会兼和歌山東南 RC 創立  
43 周年記念例会  
ロイヤル インズ ホテル

## 先週例会報告

ゲスト：米山奨学生(和歌山RC 和歌山中RC) 涂彪様

会場監督 赤井 誠

## 会長挨拶

郷間 博敏 会長

本日は米山奨学生 涂彪(と ひょう) 様卓話の宜しくお願ひいたします。



私は、先週から風邪をひきましてずーっと治りません。最近、インフルエンザ、ノロウイルス、鳥インフルエンザ、豚ウイルスと変なのが流行っていますがご注意下さい。

2年前の溝落会長時代に、東北復興のために皆様からご寄付頂いたお金を福島県の方に届けて頂いたお金で、浪江町の町長様から記念状が届いております。当時会長の溝落様と記念撮影をいたします。

## 幹事報告

奥村 智子 幹事

- ・ロータリーレート  
2月は1\$ = 102円です。



## ニコニコ箱

宇治田堅三 副会計

- 郷間君・本日涂彪君  
卓話よろしくお願ひいたします。
- 溝落君・第2回 東南麻雀会にて優勝しました。
- 市川君・今日から座席がえらい上になり 緊張するわ!!
- 神谷君・米山留学生 涂彪君、スピーチありがとうございます。
- 竹中君・奥村幹事様、先日はお世話になりました。



## 《ロータリアンの守るべき道》

- ⑭ ロータリーの活動は善意から出発します。一人ひとり善意の奉仕をしましょう。

## 米山記念奨学会

宇治田堅三 副会計

奥村君・涂彪(とひょう)様、よろしくお願ひいたします。

ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計 1,585,776	142,000	140,000	23,000	0

出席報告	出席者	出席率
会員総数	52名	1/29 34名 66.67%
出席免除会員	4名	1/15 39名 76.47%

## 《委員会報告》



姉妹クラブ委員会 委員長 山口幸也

### ○台北東南 RC 表敬訪問について

2月25日(火)の12:30よりの例会が2月24日(月)6:30に変更となりました。

(台北東南RC様の御厚意で、例会日を変更し歓迎会と例会を2月24日に変更する)

- ・2月24日新幹線高雄 14:40 新幹線#202号
- ・2月24日台北到着 16:06 台北 アンバサダーホテル着
- ・2月24日例会出席 17:45 台北 アンバサダーホテル出発
- ・2月24日例会出席 18:30 皇延晚餐例会
- ・2月25日 観光出発 (九份観光)
- ・2月25日 台北空港着 15:30、台北空港発 17:20 CI-158
- ・2月25日 関空着 20:50

## 「私の思う奉仕とは」 2013年度 米山奨学生 涂彪様



中国の四川省出身の涂彪（ト ヒョウ）と申します。今年の4月から2013年度米山奨学生になり、第2640地区の和歌山中ロータリークラブに所属しており、とても光栄に思います。

奨学生になったきっかけで、ロータリーに関するいろいろ勉強をしました。特に、ロータリーの4つの目的の中で、「奉仕」という言葉は4回も出て、「奉仕」の重要さは明らかに強調されています。ロータリーは、奉仕を通じて国際理解、平和、親善を世界に訴えています。まだ学生なので奉仕はまだまだ先のことだと思った私は、ロータリーの影響を受けて、奉仕

とは目に見える物質的なものだけではなく、「真実」、「公平」、「好意」、「友情」をもって、いつでもどこでも誰でもできるものではないかと気付かされました。例えば、親切に人を招待することや、相手の立場や気持ちを理解しようとする心があることなど、これも奉仕だと思います。

あっという間、奨学生生活は残りわずかです。たくさんのロータリアンと身近で接する機会が増え、様々な活動を通してたくさんの貴重な経験を得させていただきました。ロータリーは、国境を越えて、様々な国際支援活動をしていることに心より感心しています。今の私は、まさにロータリーの皆様のおかげで、より深い日本文化への理解やより良い学業への専念ができました。

中国では「滴水之恩、当以湧泉相報」という諺があります。日本語の意味は「たとえ一滴の水でも受けた恩義は、湧き泉として報いるべき」です。ロータリーは何かを求めて奉仕活動をしているわけではないですが、私は必ず恩返しをしないとイケないと思っております。具体的に言うと、日本人から頂きましたたくさんの物質的なもの、特に良い精神的なものを周りの人たちに真実で伝えることが私たち奨学生の役割ではないかと考えております。

最後、拙い言葉で申し訳ありませんが、改めて感謝の気持ちを申し上げながら、ロータリーの今後のますますの発展とより良い日中関係、そして世界平和を心よりお祈り申し上げます。

